

令和4年第1回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年1月19日(水)

午前9時30分～

場 所 金浦公民館 軽運動室

議 事 日 程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第1号 にかほ市教育委員会表彰について
- 第 3 議案第2号 フェライト子ども科学館運営委員会委員の任命について
- 第 4 議案第3号 令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 第 5 報告

令和4年1月19日招集

令和4年第1回  
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

## 令和4年第1回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年1月19日 水曜日
2. 場 所 金浦公民館 軽運動室
3. 開 会 午前 9時30分
4. 閉 会 午前 10時05分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正  
委員 佐々木 郁 子  
委員 佐藤 道 彦  
委員 小松 雅 子  
委員 伊藤 知

### 6. 説明のための出席者

教育次長	畠山 真姫子
教育総務課長	齋藤 邦
学校教育課長	菊地 新 吾
学校教育課副主幹	佐々木 妙子
生涯学習課長	山田 高
仁賀保公民館長	三浦 晶 子
象潟公民館長	佐々木 美 和
フェアイト子ども科学館長	佐々木 孝 人
白瀬南極探検隊記念館長	阿部 和 久
文化財保護課長	今野 和 彦

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

### 8. 会議に付した議案

議案第1号 にかほ市教育委員会表彰について  
議案第2号 フェアイト子ども科学館運営委員会委員の任命について  
議案第3号 令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

### 9. 可決した議案

議案第1号 にかほ市教育委員会表彰について  
議案第2号 フェアイト子ども科学館運営委員会委員の任命について  
議案第3号 令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

## 10. その他の確認事項

- (1) 令和4年第2回教育委員会は令和4年2月18日（金）午後1時00分から象潟庁舎で開催することにした。

## 11. 会議の要旨

【開会 午前9時30分】

### 【教育長】

これから令和4年第1回にかほ市教育委員会を開催いたします。今回の出席委員は、5名であります。日程の第1 会議録署名委員の指名を行います。委員には、佐々木委員と伊藤委員にお願いしたいと思います。書記には、教育総務課の佐々木副主幹を指名いたします。

それでは、日程の第2 議案第1号 にかほ市教育委員会表彰について、教育総務課長からお願いします。

(教育総務課長 説明)

### 【教育長】

表彰をする前に再度学校に確認して、表彰を受ける児童生徒を見落とさないようにしてほしいと思います。これについては異議がないものと認め、原案どおり承認してもよろしいでしょうか。

(なしの声)

### 【教育長】

それでは、これについては異議がないものと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第3 議案第2号 フェライト子ども科学館運営委員会委員の任命について、フェライト子ども科学館長からお願いします。

(フェライト子ども科学館長 説明)

### 【教育長】

この8名の方はフェライト子ども科学館運営委員会でとても色々なアイデアや考え方を出してくれる方々なので再任したいということですが、委員の皆様から何かありませんか。

(なしの声)

**【教育長】**

それでは、異議がないものと認め、原案どおり承認いたします。

日程の第4 議案第3号 令和3年度要保護・準要保護児童生徒の認定について、学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長・学校教育課副主幹 説明)

**【教育長】**

それでは、議案第3号については、申請があった1件を認定することに決定してもよろしいですか。

(異議なしの声)

**【教育長】**

それでは、日程の5 報告に入ります。私からですが、さきがけ新聞の学問文化面に八代亜紀さんの記事が掲載されていました。記事を読んでいてジーンとききました。色々な世界でも1位になる人は、見えないところで努力を重ねて、自分自身を鍛え上げて、上を見上げているのだなと改めて感じまして、この資料を準備しました。八代亜紀さんから学ぶことはたくさんあります。八代亜紀さんの記事には、「私の原点は身に染みついた浪曲とジャズである。日本の民衆の貧しさと悲しみから生まれたのが浪曲、アメリカの奴隷制度の過酷さから生まれたのがジャズやブルースである。どちらも切なくて寂しくなるが、必ず、明日が来るから生きるんだって。」とありました。この前向きな考え方に感激しました。二つ目は、常に「感謝」と「恩返し」という言葉を口にしていたようです。八代亜紀さんは誰に対しても感謝の気持ちで付き合っているなど感じました。三つめは、フランス画壇の登竜門とされる「ル・サン」展で5年連続入選した画家でもあります。私は初めて知りまして、素晴らしいなと思いましたし、年齢を重ねても色々なことに挑戦をしていく姿に、私たちも学ばなければいけないと思いました。では、教育総務課長から順に報告をお願いします。

(教育総務課長から順に報告) 各課からの報告は別添、資料参照

**【教育長】**

各課長から報告がありましたが、委員の皆様から何かありませんか。

**【佐々木委員】**

仁賀保公民館の子どもつどいですが、44回も続けているのは素晴らしいと思います。これからもよろしくをお願いします。

【仁賀保公民館長】

続けていければと思います。

【教育長】

他に何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

高校入試の前期入試が始まろうとしています、前期入試並びに一般入試で、生徒たちの健闘を祈りたいと思います。

これで報告を終わります。次回の教育委員会は2月18日(金)の午後1時00分から象潟庁舎で開催いたします。以上で本日の委員会に提案された議案の審議は終了しましたので、第1回にかほ市教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午前10時05分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

” 委 員

依々木 郁子

” 委 員

伊藤 知

# 浪曲とジャズの魂が原点！

にかほ市教育長 齋藤 光正

2021. 11/3のさきがけ新聞の学問文化面に、八代亜紀さんの記事が掲載されました。読んでジーンとききました。

八代さんの記事には、

私の原点は、身に染みついた浪曲とジャズである。日本の民衆の貧しさと悲しみから生まれたのが浪曲、アメリカの奴隷制度の過酷さから生まれたのがジャズやブルースである。どちらも切なくて寂しくなるが、必ず、明日が来るから生きるんだって。

とあります。

そして、八代さんの口癖は「感謝」と「恩返し」であります。社会貢献活動も積極的に行い、少年院と女子刑務所への慰問は、1973年から続けているようです。また、東日本大震災時には被災地へ、熊本地震の時は、故郷の熊本に八代産の畳1万枚を届けています。できる限り被災地に足を運び、被災者と同じ時間を共有したそうです。

また、八代さんは、フランス画壇の登竜門とされる「ル・サン」展で5年連続入選した画家でもあります。

絵を描く時間をもつことで、心身のバランスが取れていると思います。私の絵には、犬や猫が出てきますが、あれは私自身なのです。歌と絵は通じるところがあって、その物語の絵が俯瞰で見えるんです。

と述べ、

- ・80歳になっても現役で、若者多めの老若男女の観客が沸き返る中で歌いたい。
- ・ニューヨークのライブで一緒だったジャズシンガーのヘレン・メリルさんは、92歳で今も元気なので、私も負けないでがんばりたい。

と、これからの目標を明らかにしています。

世の中には、80歳を超えても何かに夢中になり、元気に、充実した生活を送っていらっしゃる方が多いです。

「なぜ、こんなに元気なのか」と、考えてしまうことがあります。

その時、米国の詩人、サミュエル・ウルマンの言葉

～希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる～

が思い出されます。

八代さんも、きっとこの詩のように、常に前向きに、希望と好奇心を持ち続けているのだろうと、心から敬服したいと思います。

年齢を重ねると、身体の衰えは避けられません。しかし、八代さんのように、常に、希望と好奇心を持ち、「心の若さ」を保っていくべきだろうと思います。

皆さん、八代さんに学びましょう。

教育総務課

1. にかほ市奨学生の募集状況

募集期間：8月2（月）～9月30日（木） 市広報・チラシ・市HPで周知

1/19 現在

区分	月額貸与額	入学一時金	申込数	
			月額	一時金
高等学校	月額3万円以内	10万円以内		
高等専門学校（1～3年）	〃	〃		
専門学校	月額5万円以内	30万円以内	3人	3人
高等専門学校（4、5年）	〃	〃		
短期大学	〃	〃		
大学	〃	〃	15人	10人
大学院	〃	〃		
大学（海外留学）	月額10万円以内	〃		

\*令和4年度奨学生の募集

2月1日～3月31日

2. 大学生等生活支援事業に係るアンケート調査について  
別紙



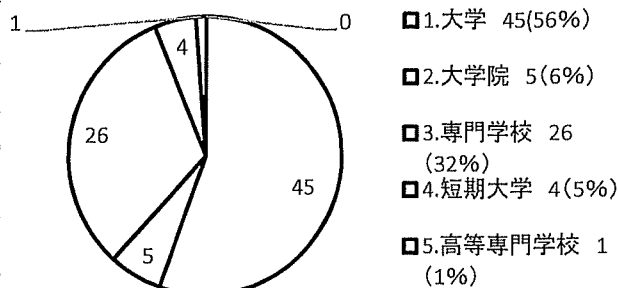
# 大学生等生活支援事業に係るアンケート調査

2021年12月10日 ~ 2022年1月7日

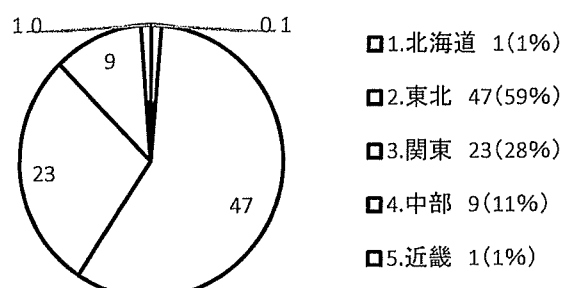
集計日: 2022.01.07

81

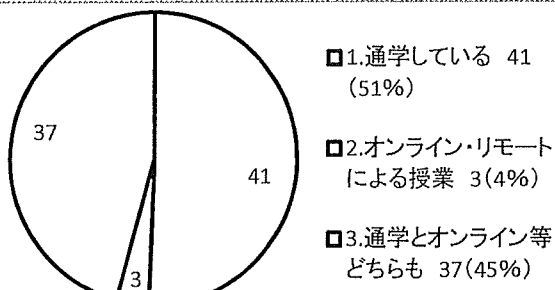
Q1 あなたの学校について教えてください。



Q2 あなたの学校の地域について教えてください。

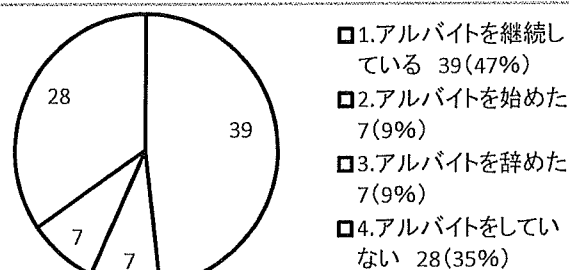


Q3 学業・通学の状況について教えてください。

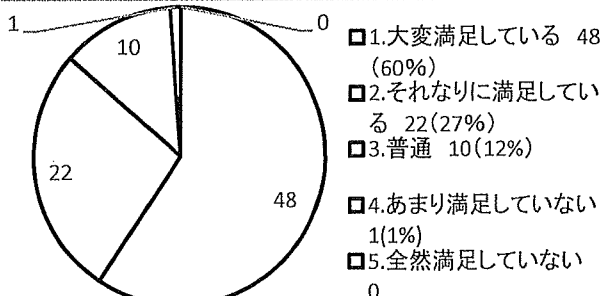


Q4 アルバイトの状況を教えてください。

(季節限定の短期アルバイトは除く)



Q5-1 本制度への満足度をお伺いします。



Q5-2 上記の評価の理由を教えてください。

1. 「大変満足している」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・家賃、食費、光熱水費等に使った。生活の支えになった。生活の厳しさが和らいだ。
- ・アルバイト収入が減少していたため助かった。商品券を使って、にかほ市の飲食店に貢献できればと思った。
- ・現金はもちろん、久しぶりに地元のおいしい食材を食べることができた。
- ・ふるさとを思い出させてくれるような取り組みが多く、卒業後、地元に戻ろうという思いがより強くなった。
- ・金銭的に助かった。また、親と話すきっかけになったので良かった。
- ・商品券を利用して食料をたくさん送ってもらうことができたのでとても助かった。
- ・にかほ市を出た一人暮らしの学生に対しての素晴らしい制度だと思った。とても嬉しかった。
- ・学業との両立も考え、アルバイト漬けにならないようにしているため、アルバイトだけでは経済的に十分ではなかった。給付金のおかげで、少し余裕を持って生活を送ることができたと思う。

2. 「それなりに満足している」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・生活費に充てることができ、大変感謝している。正直、お金はいくらあっても困らないので満足度を一つ下げた。
- ・現金給付は助かった。市の業務がひっ迫するなかで対応していただきありがたかった。

次ページへ続く

Q5-2 続き

2.「それなりに満足している」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・もう少し現金でもらえるとありがたかった。全額現金振り込みの方がよかった。
- ・この給付金とアルバイト収入とで最低限の生活を送ることができている。(大学の授業料を除く)
- ・お金が得られて、選択肢が増えた。
- ・実家から食べ物が送られてきて助かった。
- ・保護者側は商品券で地元のお店で購入でき、学生側には現金を配付することで自由に使えるから助かった。
- ・学生本人が使えるのは2万円、商品券で3万円と用途が限られており、非常に使用しづらかった。

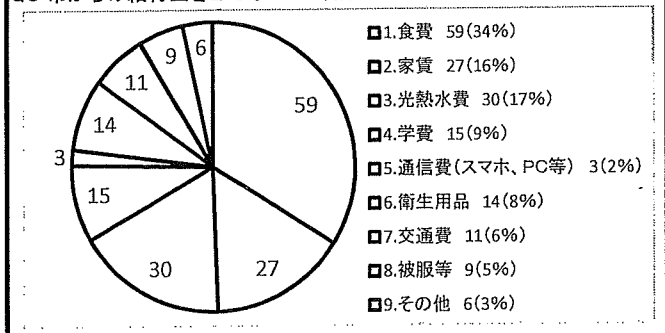
3.「普通」と回答した人の意見(一部抜粋)

- ・現金が少額であった。
- ・現金2万円だけでは、数か月もたない。前年のように月々給付金を受け取れる制度だとありがたかった。
- ・クーポン(商品券)が使いにくかった。
- ・商品券よりも給付金の方を多く出して欲しかった。

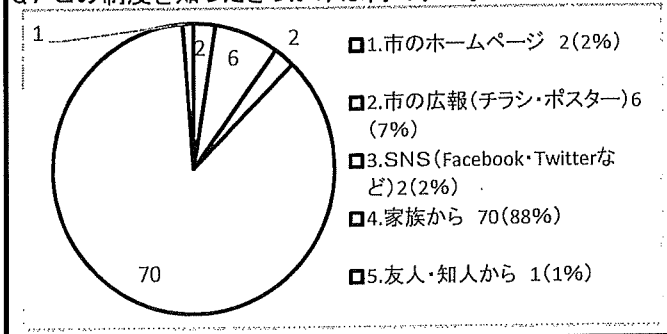
4.「あまり満足していない」と回答した人の意見(全部)

- ・商品券について、県外なのでまだ1回も出来ておりません。県外に出た方が受けることができるように交通費(3万円)等が必要だと考えます。

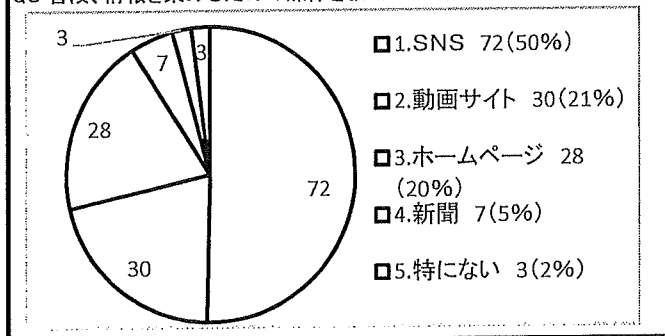
Q6 市からの給付金をどんなことに利用しましたか。(複数回答可)



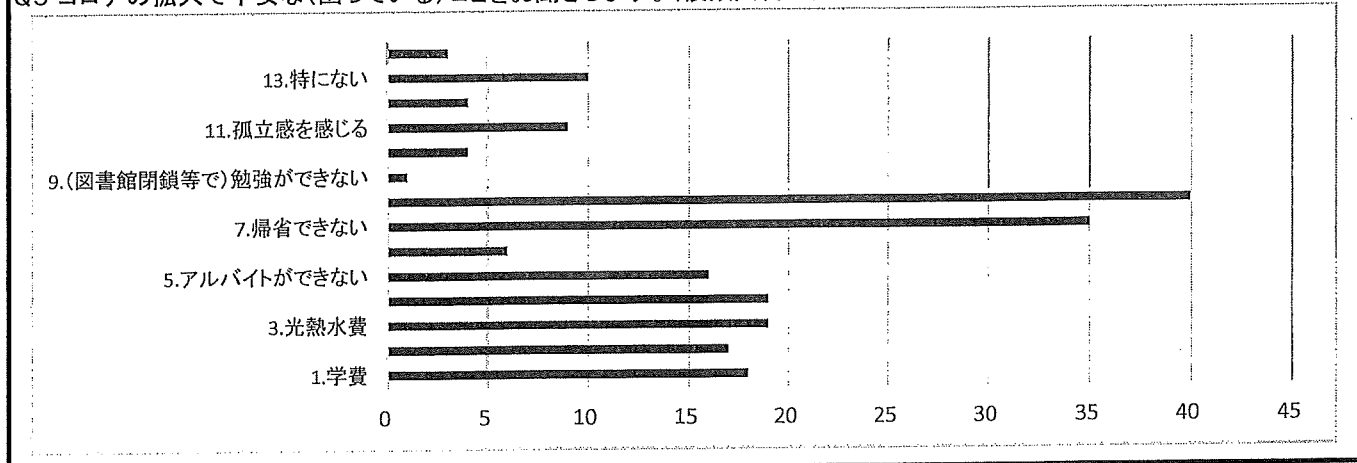
Q7 この制度を知ったきっかけは何ですか。



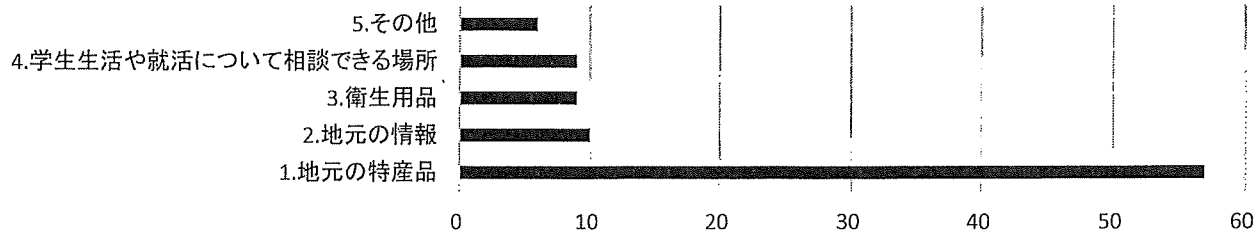
Q8 普段、情報を集めるための媒体を教えてください。(複数回答可)



Q9 コロナの拡大で不安な(困っている)ことをお聞きします。(複数回答可)



Q10 給付金・商品券以外で、あなたが学生として市に期待する支援は何ですか。(複数回答可)



Q11あなたが日常生活で感じていることや近況などを自由に記載してください。

◆地元を離れ、近所や地域の人との会話、知らない人でもすれ違った時に挨拶をすることなどの些細な日常・人との繋がりが嬉しかったな、楽しかったな、と今感じている。しかし、良いことについても悪いことについても情報が出回る、伝わるのが早すぎる点はあまり好きではない。

◆帰省したら買い物というよりは、奈曽の白滝、土田牧場、仁賀保高原などの自然に触れたいという思いが強い。

◆大学は通学可能になっているが、オンラインの生活に慣れてしまった人が多数いるため、実際登校している人はかなり少ない。

◆給付金は非常に嬉しかったです。わがままですが、またお願いしたいです。

◆コロナが落ち着いたと思ったら、変異株による問題で心が疲れる

◆規制も緩くなり普段の生活に戻ってきていることを嬉しく思っている。

◆もう一度今回のような支援をしていただきたい。

◆生活費などでいっぱいいっばいで、遊びなどに使えるお金がなく、学生生活を満喫できない。友達との交友関係が薄れている

◆地元に帰りにくい。

◆コロナが終息するまで飲食店でのアルバイトが怖いため、まだ金銭的な不安がある。今年の冬も帰省できるかわからないため、家族からの疎外感を感じる。

◆うつによりバイトができず、一人暮らしの為に生活に困っている。可能であれば給付金制度を復活させて欲しい。

◆毎月のかかるお金がカツカツなのでもう少しあってもいいと思った。

◆いずれは秋田に帰って仕事がしたい。その為に今は色々な経験をして大きな人間になりたい。自分が生まれ育ったにかほで生きていく道も検討したいと思っている。

◆大学生の間はどうしてもアルバイトと学業で忙しく、お金もないので生活費だけでアルバイト代がなくなり学費で将来の借金が増える。最近はコロナが落ち着き旅行の計画を立てることが出来ていて、忙しくはあるが閉塞感が少しずつ無くなっている。

◆部活をやっているのでバイトだけだと遊ぶお金がない。

◆にかほ市を離れ、一人暮らしをするようになりましたが、すぐにかほ市の支援が優しく、にかほ市の良さが分かり、こっちにきてからにかほ市の過ごしやすさなど感じる事が出来ました。

◆帰省のための交通費が少し高いなと感じています。

今の期間は高速バスも運行しておらず、新幹線でしか帰省出来ない状況です。そのため、普段だと行きで3,000～4,000円ほどで帰省できますが、新幹線だと15,000円ほどかかってしまいます。

他県出身の友達が、自分の市で帰省のための交通費を市が負担してくれるキャンペーンというのをやっていると聞いたのでもしにかほ市も出来たらいいなと思いました。

((私は今年度で専門学校を卒業するので来年度以降の学生さんのためにそういった制度をやって頂けたらと嬉しいと思います))

◆コロナでリモートなどもなく、普通に通学できており充実している。お金に対する不安が少なくなったのも心の余裕ができて、バイトも程よく入れることが出来る。

◆大学生になり、近くに秋田県の人がおらずなかなか大変。

◆サークル3つ、飲食店のアルバイト、短期アルバイト、長期インターン、芸術系の展覧会企画など、コロナ禍でも比較的充実した生活を送ることができています。旅行などは自由に出来ませんが…2年に上がったらもっと専門性の高い授業が始まるので、それを楽しみに頑張りたいです。

◆コロナ禍で多くの制約がありましたが、自分の将来に向けてじっくり考えることができました。現在は、大学での研究活動に注力しています。将来的に象潟に帰りたくて考えているので、今後も若者たちのためにこの制度を続けて欲しいです。ありがとうございました。

## 学校教育課

### 1. 事業報告

- 12月24日(金) 2学期終業式
- 12月25日(土)～1月13日(木) 冬季休業
- 1月5日(水) キッズプログラミング教室初級編(金浦小)
- 1月6日(木) キッズプログラミング教室中級編(象潟小)
- 1月11日(火) キッズプログラミング教室上級編(平沢小)
- 1月14日(金) 3学期始業式
- 1月17日(月) 社会科副読本編集委員会

### 2. 事業計画

- 1月20日(木) 象潟中学校保健委員会
- 1月27日(木) 高等学校前期選抜試験
- 2月1日(火) 情報教育推進委員会
- 2月2日(水) 特別支援教育運営委員会
- 2月3日(木) 本荘由利校長会  
平沢小学校保健委員会、給食運営委員会
- 2月4日(金) にかほ市校長会  
高等学校前期選抜合格発表
  
- 3月8日(火) 高等学校一般選抜
- 3月12日(土) 中学校卒業式 ※出席者については別紙参照
- 3月15日(火) 小学校卒業式 ※出席者については別紙参照
- 3月16日(水) 高等学校一般選抜合格発表
  
- 3月18日(金) 修了式

# 令和3年度卒業式への教育委員の出席について (案)

期 日	学校名	出 席 者	
	開式時刻	職	氏 名
3月12日 (土)	仁賀保中学校 10:00~	教育委員	小松 雅子
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	金浦中学校 10:00~	教育委員	伊藤 知
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	象潟中学校 10:00~	教育長職務代理者 教育委員	佐々木 郁子 佐藤 道彦
		来賓入場 9:55~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
3月15日 (火)	平沢小学校 10:00~	教育長職務代理者	佐々木 郁子
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	院内小学校 10:00~	教育委員	小松 雅子
		来賓入場 9:55~ (遅くても9:45まで 受付を済ませてください)	
	金浦小学校 9:30~	教育委員	伊藤 知
		来賓入場 9:25~ (遅くても9:15まで 受付を済ませてください)	
	象潟小学校 9:30~	教育委員	佐藤 道彦
		来賓入場 9:20~ (遅くても9:10まで 受付を済ませてください)	

令和3年度卒業式の出席者について

期 日	学校名	出 席 者 職 氏 名	
	開式時刻	職	氏 名
3月12日 (土)	仁賀保中学校 10:00~	教育長	齋藤 光正
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	金浦中学校 10:00~	市長	市川 雄次
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	象潟中学校 10:00~	副市長	本田 雅之
		来賓入場 9:55~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
3月15日 (火)	平沢小学校 10:00~	市長	市川 雄次
		来賓入場 9:50~ (遅くても9:40まで 受付を済ませてください)	
	院内小学校 10:00~	総務部長	佐藤 正之
		来賓入場 9:55~ (遅くても9:45まで 受付を済ませてください)	
	金浦小学校 9:30~	教育長	齋藤 光正
		来賓入場 9:25~ (遅くても9:15まで 受付を済ませてください)	
	象潟小学校 9:30~	副市長	本田 雅之
		来賓入場 9:20~ (遅くても9:10まで 受付を済ませてください)	

## 生涯学習課・金浦公民館

### 1. 事業報告

- 12月23日(木) 金浦福寿大学 12月授業 講話「にかほの宝物」  
32名参加
- 1月 6日(木) 浜っ子クラブ「子どものつどい」 36名参加
- 1月 9日(日) 令和2年度成人式 仁賀保温泉 いちゑ  
164名参加
- 1月10日(月) まんまある&ほんわっカフェ「ポーセラーツ教室」  
親子6組12名参加
- 1月15日(土) 公民館講座「楽しく気持ちよく脳活性化講座③」  
～身近なものを使ったマジック&レクチャーで脳を  
活性化してみよう～ 5名参加

### 2. 事業計画

- 1月22日(土) 公民館講座「プロに学ぶメイクアップ講座」
- 1月25日(火) 公民館講座「カラダ改造計画③」
- 1月27日(木) 金浦福寿大学 1月授業  
・施設見学「エスパーク★にかほ(屋内運動施設)」  
・東京パラリンピック競技「ボッチャ」体験
- 2月 5日(土) 公民館講座「家庭園芸講座」
- 2月 6日(日) 親子ふれあい体験教室  
・ぼくもわたしも陶芸家  
・幸せを呼ぶサンキャッチャーを作ろう  
・ハワイアンリボンレイストラップを作ろう
- 2月10日(木) ほんわっカフェ
- 2月12日(土) 令和3年度成人式 → 来年度に延期

## 図書館・仁賀保勤労青少年ホーム

### 1. 事業報告

#### 【図書館】

テーマ展示

仁賀保分館 「原作を読む」

象潟分館 「今年は何にトライする？」

こぴあ 「東北6県ローカル文化 ～地域にまつわる文化を知ろう～」

12月23日(木)～読書の記録帳「読書通帳」

申込者75名(こぴあ32名、仁賀保分館22名、象潟分館21名)

※1月11日現在

1月4日(火)～16日(日)

3館合同企画 本の福袋「お年玉」

展示79点(こぴあ29、仁賀保分館25、象潟分館25)

貸出77点(こぴあ29、仁賀保分館23、象潟分館25)

#### 【仁賀保ホーム】

1月6日(木) トレーニング室新規利用者講習会

14名参加

### 事業計画

#### 【図書館】

1月26日(水) にかほ市読書感想文募集事業審査会

一般の部審査 応募者3名

2月11日(金) にかほ市読書感想文募集事業「表彰式」

1月18日(火)～19日(水) 蔵書点検のため臨時休館 象潟分館

1月24日(月)～25日(火) 蔵書点検のため臨時休館 こぴあ

2月15日(火)～16日(水) 蔵書点検のため臨時休館 仁賀保分館

#### 【仁賀保ホーム】

1月28日(金)～30日(日)

グランドピアノ一般無料開放

2月3日(木) トレーニング室新規利用者講習会



## 仁賀保公民館

### 1. 事業報告

12月24日(金)	パソコン講座・活用編⑥「カレンダーを作ろう」	参加者 11人
1月6日(木)	子どものつどい	参加者 83人
14日(金)	料理教室「桜餅・鶯餅をつくりましょう」	参加者 7人

### 2. 事業計画

1月18日～3月22日(毎週火曜日)	
	子ども太鼓体験教室(全10回)
22日(土)	料理教室「にかほ産大豆で味噌作り」
28日(金)	パソコン講座・活用編⑦「絵はがきを作ろう」
2月5日(土)	キッズユートリック「雪の動物園」
16日(水)	高齢者学級むらすぎ学園「健康スポーツ」
18日(金)	キッズ・まもーる「院内小学校」
25日(金)	パソコン講座・活用編⑧ 「パソコン・スマホのセキュリティ」
25日(金)	キッズ・まもーる「平沢小学校」
26日(土)	キッズユートリック「お別れお楽しみ会」
28日(月)	パソコン講座「お名前シールの作り方」他

## 象潟公民館

### 1 事業報告

- ・ 1月12日(水) きさかた子どものつどい ピアノ&マジック他 74人
- ・ 1月18日(火) 白寿大学「軽運動」 31人

### 2 事業計画

- ・ 1月20日(木) フラワーアレンジ講座「コサージュ作り」
- ・ 1月24日(月)・25日(火)  
パソコン講座 「誰にも聞けないパソコンのいろいろ」
- ・ 2月22日(火) 白寿大学 修了式
- ・ 2月26日(土) 友遊くらぶ

## フェライト子ども科学館

### 1. 事業報告

#### ○入館者数の実績

	R3	R1	R1同期 比%	説明
4～12月計	8,290	35,350	▲76.5%	休館：令和2年2/29～ 8/2(新型コロナ対策、エン トランス修繕工事)
うち12月	770	1,371	▲43.8%	

#### ○新型コロナウイルス対策について（1月18日～）

- ・休館：月（祝日の場合は翌日）
- ・館内の人数制限：状況により制限
- ・滞在時間：①9:00～11:30 ②13:00～16:30
- ・入館料：通常料金
- ・入館者への要請：記録票記入、マスク着用、検温の協力、手指消毒等
- ・実験工作教室等：少人数で実施

#### ○1月8日（土）米村でんじろうプロダクション

「実験教室（リモート）」※3回開催 参加23人

### 2. 事業計画

#### ○2月6日（日）、13日（日）3Dプリンター教室

「イースターエッグを作ってみよう」

#### ○2月20日（日）米村でんじろうプロダクション「実験教室」

#### ○2月26日（土）実験工作教室「ゾートロープをつくろう」

### 3. その他

#### ○2月中旬 抗菌・抗ウイルスガラスコーティング施工

## 白瀬南極探検隊記念館

### 1. 事業報告

#### (1) 入館者数の実績

	R3年度	R元年度	増減(▲)	説明
4～12月	6,466人	9,755人	▲33.7%	県外客 23.0%
うち12月	294人	287人	2.4%	
1月の状況	寒波及びコロナの拡大により(R元年度と比較して)大幅に減少している。			

#### (2) 企画展「白瀬轟を支えた南極探検隊」開催

期間：開催中 ～3月13日(日)

#### (3) 参与会議(オンライン・1回目)

期日：12月24日(金)

内容：事業報告、研究報告、今後の方針等の協議

※今年度は「書面会議+オンライン会議」形式で2月まで開催

#### ※報告…冒険家 阿部雅龍氏の「白瀬ルート」冒険について

阿部氏は、大和雪原を出発点とする「白瀬ルート」を単独徒歩で南極点を目指す冒険に挑戦していたが、航空会社との契約期限内に冒険を完了する見込みがなくなったことから、1月10日に南緯85度44分で冒険を断念することとなった。日数54日、距離は783km(公式記録は後日公開)。

今回の冒険では、コロナによりチリ国内滞在日数が大幅に延びたほか、大和雪原周辺のクレバス帯を迂回するため直前で距離が100km延長となるなどの悪条件に見舞われた。

### 2. 事業計画

#### (1) 第55回白瀬中尉をしのぶ集い

日時：1月28日(金) 10:00～11:30

内容：①雪中行進は金浦小、金浦中及び関係者のみ参加(縮小開催)

②講演会は中止

#### (2) 郷土史市民講座(象潟郷土資料館共催)

日時：2月1日(火) 13:30～15:00

演題：「晩年の白瀬中尉夫妻」

講師：小柳伸光氏(南極探検隊長白瀬轟顕彰会会長)

#### (3) わらび座ミュージカル公演【市民観劇バスツアー事業】

期日：2月8日(火)、12日(土)

参加者数：(予定)35人

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R3	R元	比較	増減率	説明
4～12月 計	1,743人	2,691人	△948人	△35.2	検温、マスク着用、手指消毒、 入館記録、入館者数制限なし
うち12月	125人	94人	31人	32.9	

1月12日(水) 第1回郷土史市民講座  
 「鳥海山・飛島ジオパーク、世界への挑戦」  
 講師／東北公益文化大学 公益学部 准教授 新名 阿津子 氏  
 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会 主任研究員 大野 希一 氏

1月13日(木) 文化財現地調査(文化庁 文化財第二課) 柴田調査官  
 ～14日(金) 天然記念物「象潟」現地調査

2. 事業計画

1月31日(月) 仁賀保高校伝承芸能講演会 1年生65人  
 講話 秋田県民俗芸能協会 会長 齊藤壽胤 氏

2月 1日(火) 第4回郷土史市民講座  
 「晩年の白瀬中尉夫妻」  
 講師／南極探検隊長白瀬轟顕彰会 会長 小柳 伸光 氏

2月 5日(土) 第5回郷土史市民講座  
 「小坂町の版画家 小泉さんー秋田の創作版画家の交流からみるー」  
 講師／小坂町立総合博物館郷土館 学芸員 安田 隼人 氏

2月10日(木) 仁賀保高校伝承芸能体験会 鳥海山日立舞(横岡番楽)

2月12日(土) 第6回郷土史市民講座  
 「象潟大地震再考ー潟はなぜ田畑になったのかー」  
 講師 宮城学院女子大学 学芸学部 准教授 高橋 陽一 氏

2月24日(木) 第1回やさしい古文書解説講座